平成26年度 第3回向日市社会教育委員の会議 要旨	
日 時	平成26年11月12日(水)午後2時30分~3時50分
場所	西向日コミュニティセンター大会議室、長岡宮朝堂院公園
出席委員	永井委員、髙畑委員、植田委員、横田委員、大月委員、河村委員、中本委員、 中條委員
欠席委員	安田委員、梅田委員、黒住委員、羽渕委員
事務局	野田教育部長、清水教育部次長兼生涯学習課長、萬治、飯野
内 容	1 平成26年度近畿地区社会教育研究大会(大阪大会)参加報告2 その他事項3 研修 社会教育施設見学と説明(長岡宮朝堂院跡)
	〈 開 会 〉
野田部長	○開会挨拶
委員長	○挨 拶
	○平成26年度第2回会議録要旨について確認
	○議題1 近畿地区社会教育研究大会(大阪大会)の参加報告について
	 近畿地区社会教育研究大会(大阪大会) ・日時 平成26年9月12日(金) ・場所 吹田市文化会館 ・内容 記念講演 演題 「コミュニティが動き出す瞬間~その気にさせるしかけづくり~」 講師 山崎 亮 さん(㈱studio L 代表、京都造形芸術大学教授) ・分科会1 地域づくり 分科会4 学校・家庭・地域の協働分科会2 人権教育 分科会5 環境教育
委員	分科会 3 青少年教育 一参加した感想・意見の交流—
	【記念講演について】 ・コミュニティデザインについての内容であり、泉佐野公園、草津川プロジェクト、福島県猪苗代町の美術館開館事業等が例にあげられていた。 ・社会教育委員として、どのように事業をデザインし企画していくかについて学

ぶことができた。

- ・泉佐野緑地公園については、行政がすべて開発を行ってしまうのではなく、まず開発する人材 (パークレンジャー) を養成し、公園を企画・開発していくという内容であった。
- ・開発にかかるお金の新しい使い方を知ることができた。
- ・広報からもっと事業をアピールする方法があるということを学んだ。
- ・人を育て、事業をデザインしていくという内容が印象に残った。

【分科会について】

(第2分科会:人権教育)

- ・学校で人権の出前講座を行うという活動報告であった。
- ・先生でも親でもない第三者が人権学習を行うことの意義について話された。
- ・学校教育と社会教育が重なり合う活動であると感じた。
- ・活動には社会教育委員が参加されており、グループの一員としての立場で報告 をされた。
- ・社会教育委員としての視点を含めて報告をしてもよかったのではないかと感じ た。

(第3分科会:青少年教育)

- ・滋賀県米原市の社会教育委員から、音楽でまちづくりを行う団体の活動が報告された。
- ・小学校の授業の中で、生徒が作詞・作曲を行うという内容であり、他の地域で の活動を知るよい機会となった。
- ・ボランティアで指導を行っており、この形では活動継続が難しいという話が印 象に残った。

(第4分科会:学校・家庭・地域の協働)

- ・地域、学校と共に守る伝統文化という内容であり、奈良県宇陀郡曽爾村の伝統 文化「曽爾村の獅子舞」を若者や子ども達に継承していく活動が報告された。
- ・過疎化で伝統芸能の継承が難しくなってきているという話が印象に残った。
- ・学校とのやりとりがうまくいかず、一時活動が停止してしまったという報告があった。もっと地域と行政とのつながりがうまくいかないものかと残念に思った。
- ・学校と地域とがいかに関わることができるかについて学ぶよい機会となった。

事務局 ○その他事項

- ・京都府社会教育研究大会について
- ・ 人権研修会について
- ・社会教育委員自主研修会について

〈 移動:西向日コミセン~朝堂院公園 〉

文化財調査事	○研修 社会教育施設見学と説明(長岡宮朝堂院跡)
務所長	
	(説明)
	「在りし日の長岡宮を現地で体感 AR長岡宮」について
	(体験)
	朝堂院公園内で、タブレットを使用しAR長岡宮を体験
	〈 閉 会 〉